

宇都宮大学国際学部・国際学部附属多文化公共圏センター共催

11/15 公開講演会

野口元郎 大使 「国際刑事裁判と平和」

& UIPJ 公開シンポジウム



基調講演:野口元郎氏 外務省国際司法協力担当大使、最高検察庁検事、

ICC 検察官選任委員会独立専門家、前 ICC 被害者信託基金理事長



第二次世界大戦後のニュルンベルグ、東京裁判以来、半世紀の空白後に設立された旧ユーゴ、ルワンダ国際刑事法廷を経て、1998年に常設の国際刑事裁判所（ICC）が設立されてから20年。カンボジア特別法廷では訴追されたクメール・ルージュ政権幹部5名のうち3名が長引く裁判中に死去しています。グローバル社会が一国主義へと傾倒しつつある現在の国際社会において国際刑事裁判の果たすべき役割とその課題を語って頂きます。

場所:宇都宮大学峰ヶ丘講堂

日時:11月15日(金) 14:30~17:00

参加費無料・大学内駐車場利用可

本公開講座は、国際学部専門科目「国際法」および藤井広重研究室所属学生の学びの一環として、また講演会の後半では大学公認サークル宇都宮国際平和と司法研究会（UIPJ）の学生による研究報告の場もかねて開催されますが、他学部や一般の方の参加も歓迎いたします。先着順とし、参加申し込みは必要ありません。峰ヶ丘講堂に直接お越しください。

★UIPJ 公開シンポジウム同時開催

学生研究報告「ロヒンギヤの事態における被害者への補償とローカル正義」

報告者: 榊原彩加 (国際2年)、アティラ・ナシル (国際2年)、林亮太郎 (国際2年)、松原綾乃 (国際2年)、山田夏菜子 (国際2年)

UIPJ Ameba blog



お問い合わせ: 藤井広重 (fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp)

*最新の情報につきましては国際学部HP等をご確認ください。

